

第59期 中間報告書

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで



株式会社

鶴見製作所



株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、当社グループは第59期中間決算（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）を終了することができました。

ここに中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策により公共投資が堅調に推移し、個人消費も持ち直しの動きが見られ、また企業収益の減少が緩やかなテンポになるなど全体としては景気は最悪期を脱したように見られましたが、設備投資が依然減少傾向で推移し、失業率も過去最高水準になるなど引き続き厳しい状況が続きました。

海外におきましても、アジアを中心に一部持ち直しの動きが見られましたが、景気は依然後退局面にありました。

このような状況の中で当社グループは、新中期3ヶ年

経営計画「Revolution2012」のもと、「より高度な技術・製品・サービスの提供を目指す技術集団へ」をテーマとして、全社一丸となって業績の向上に努めました。

国内部門では、建設機械市場においては、小型軽量化を図った新型高圧洗浄機の発売などの拡販を図りましたが、住宅建設などの民間市場の冷え込み等の影響を受け、引き続き低調に推移しました。

設備機器市場においては、経済対策としての補正予算による公共投資の受注増加などもありましたが、民間設備投資が低迷する中で、やはり厳しい状況で推移しました。

海外部門では、鉱山市場が活発化の兆しを見せはじめましたが、依然景気後退の影響により市場は低調に推移しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、120億7百万円と前年同期比227%の減収、営業利益は、4億1百万円と前年同期比590%の減益、経常利益は、4億53百万円と前年同期比662%の減益、中間純利益は、2億81百万円と前年同期比535%の減益となりました。

なお、中間配当金につきましては、前期と同様の1株につき8円とさせていただきます。

今後のわが国経済は、新政権による経済効果の先行きが不透明であり、経済対策の反動も懸念され、また雇用情勢も引き続き厳しい状況にあるなど、依然として予測を許さない厳しい経営環境が続くものと予想されます。

その中で当社グループにおきましては、本年度より新中期3ヶ年経営計画「Revolution2012」を進め、「技術志向型の企業への変革」をスローガンに、技術・生産・販売の変革を通じ、総力で設定した課題に取り組むことにより、業績の向上を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

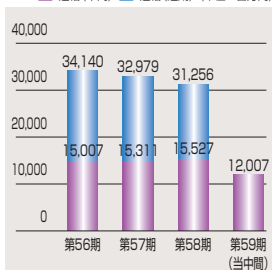
平成21年12月

取締役社長

辻 治

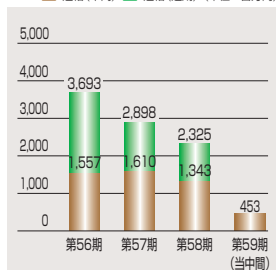
■売上高

■ 連結(中間) ■ 連結(通期) (単位:百万円)



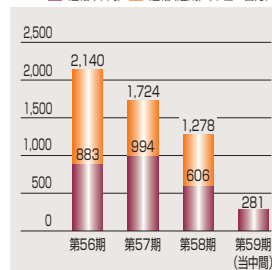
■経常利益

■ 連結(中間) ■ 連結(通期) (単位:百万円)



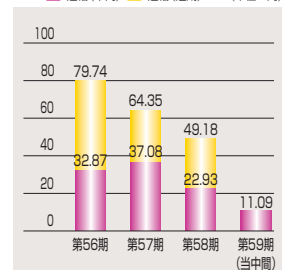
■中間(当期)純利益

■ 連結(中間) ■ 連結(通期) (単位:百万円)



■1株当たり中間(当期)純利益

■ 連結(中間) ■ 連結(通期) (単位:円)



<国内部門>

国内部門につきましては、主力市場のひとつである建設機械市場においては、公共投資の政府経済対策の効果が一部で見られるものの、マンションなど住宅建設市場の冷え込み等による民間市場の落ち込みの影響を受け、レンタル業界では機械・機材への投資の手控えなどがあり、建設機械市場向け商品は、全般的に低調に推移し、売上は前年同期に比べ減少しました。

設備機器市場においては、一部経済対策としての補正予算による発注として、排水機場向けポンプ等の物件受注に増加の傾向が見られました。

しかしながら民間設備投資の低迷の影響を受け、工場プロセスラインで使用される真空ポンプ、水処理分野を中心とする中小型の水中ポンプ並びにブロワ、スクリーンや汚水処理で発生する有機汚泥を固液分離する多重板型スクリュプレス脱水機などを含めたトータルな水処理機器の販売は低調に推移しました。

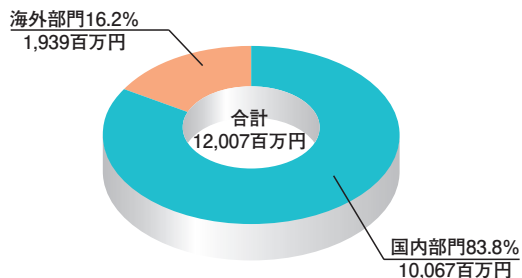
これらの結果、国内部門の売上高は、前年同期比78.3%の100億67百万円となりました。

<海外部門>

海外部門につきましては、北米市場では前年10月からの景気後退の影響が依然として残っており、全般的には在庫調整段階である年度末まで低迷が続くものと予想されますが、鉱山市場においては、市場の動きが活発化の傾向にあり、引合い件数は増加しました。

その他の市場でも在庫調整が順調に進行し、市況は改善の兆しが見えましたが、海外部門の売上高は、前年同期比72.7%の19億39百万円となりました。

■部門別売上高



タイヤ洗浄機 MTW-10S型

大阪第2営業所

新しい清掃センター不燃物処分場の建設工事（水処理施設工事）現場に出入りするダンプトラックが現場のゴミや泥などを処分場外の公道に持ち出し、落としたりして汚さないように10tダンプトラックのタイヤを不燃物処分場から出る時に洗浄するものです。タイヤ洗浄機の設置される場所と位置との関係上、ダンプの進入方向が標準品とは逆になる為、逆進入仕様としました。

納入機器

自動タイヤ洗浄機 MTW-10S型



中間連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)			
科 目	前中間期 (平成20年9月30日現在)	当中間期 (平成21年9月30日現在)	前 期 (平成21年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	21,882	20,593	23,276
現金及び預金	2,771	4,320	2,508
受取手形及び売掛金	11,023	9,073	12,521
有価証券	1,068	994	1,118
たな卸資産	5,999	5,488	6,270
その他の	1,085	760	931
貸倒引当金	△ 65	△ 43	△ 74
固定資産	22,948	21,698	21,033
有形固定資産	10,649	10,770	10,625
土地	6,646	6,627	6,638
その他	4,003	4,142	3,986
無形固定資産	708	604	646
投資その他の資産	11,590	10,322	9,761
投資有価証券	9,762	8,745	8,081
その他	1,917	1,652	1,778
貸倒引当金	△ 90	△ 75	△ 98
資産合計	44,831	42,292	44,309
(負債の部)			
流動負債	6,806	5,655	7,876
支払手形及び買掛金	3,584	2,410	4,587
一年内償還予定の社債	—	1,000	1,000
未払法人税等	500	141	391
賞与引当金	571	459	506
その他	2,149	1,643	1,390
固定負債	3,693	2,705	2,705
社債	3,000	2,000	2,000
退職給付引当金	270	262	272
役員退職慰労引当金	146	163	154
その他	277	279	278
負債合計	10,500	8,360	10,581
(純資産の部)			
株主資本	34,888	34,778	34,773
資本金	5,188	5,188	5,188
資本剰余金	7,897	7,896	7,896
利益剰余金	23,382	23,923	23,844
自己株式	△ 1,580	△ 2,229	△ 2,156
評価・換算差額等	△ 585	△ 869	△ 1,075
その他有価証券評価差額金	△ 382	△ 335	△ 603
為替換算調整勘定	△ 202	△ 533	△ 471
少数株主持分	28	22	28
純資産合計	34,330	33,931	33,727
負債純資産合計	44,831	42,292	44,309

中間連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)			
科 目	前中間期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	当中間期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前 期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高	15,527	12,007	31,256
売上原価	10,953	8,385	22,113
売上総利益	4,574	3,621	9,142
販売費及び一般管理費	3,594	3,219	7,067
営業利益	980	401	2,074
営業外収益	454	284	568
営業外費用	90	232	317
経常利益	1,343	453	2,325
特別損失	268	—	111
税金等調整前中間(当期)純利益	1,074	453	2,214
法人税、住民税及び事業税	507	142	768
過年度法人税等戻入額	△ 477	—	△ 478
法人税等調整額	438	28	643
少数株主利益	0	0	1
中間(当期)純利益	606	281	1,278

中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)			
科 目	前中間期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	当中間期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	前 期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,359	2,746	3,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 387	△ 645	705
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,902	△ 276	△ 4,689
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	△ 12	△ 192
現金及び現金同等物の増減額	△ 912	1,811	△ 1,176
現金及び現金同等物の期首残高	3,684	2,508	3,684
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,771	4,320	2,508

(平成21年9月30日現在)

(平成21年9月30日現在)

商 号  株式会社 鶴見製作所
TSURUMI MANUFACTURING CO.,LTD.
大阪本店 〒538-8585 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号
TEL (06) 6911-2351 (代)
東京本社 〒110-0016 東京都台東区台東1丁目33番8号
TEL (03) 3833-9765 (代)

創 業 大正13年(1924年)1月 5 日
設 立 昭和23年(1948年)2月12日
資 本 金 51億88百万円
従 業 員 872名 (グループ計)
(注) 従業員数は嘱託、契約社員、パートを除いております。

■主要な事業内容

当社グループは、水中ポンプを主力とした各種ポンプとその関連機器の製造、仕入及び販売（輸出入を含む）並びに賃貸を行っており、それに附帯する修理及びアフターサービス並びに機械器具設置工事業、土木工事業、電気工事業、管工事業、水道施設工事業、清掃施設工事業、鋼構造物工事業、固定資産のリース業の事業活動を展開しております。

■役 員

取締役社長 (代表取締役)	辻 本 治
専務取締役	内 藤 隆 志
常務取締役	有 本 高 明
常務取締役	廣 田 正 章
取締役	加茂田 優
取締役	中 西 寛
取締役	片 桐 健 二
取締役	芝 上 英 二
取締役	高 井 優
取締役	恒 成 利 幸
取締役	田 中 静 夫
常勤監査役	高 井 博
監査役	掛 川 雅 仁
監査役	鹿 内 茂 行

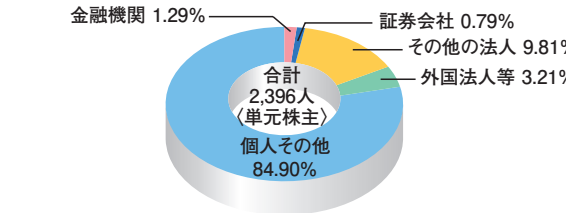
(注) 監査役掛川雅仁氏及び鹿内茂行氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■発行可能株式総数 100,000,000株
■発行済株式の総数 27,829,486株
■株 主 数 2,808名
■大 株 主

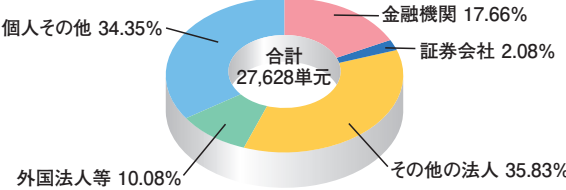
株 主 名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
	千株	%
有 限 会 社 ツ ル ミ 興 産	1,980	7.11
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	1,254	4.51
ツ ル ミ 共 栄 会	1,223	4.40
株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行	875	3.15
デ ン ヨ ー 株 式 会 社	648	2.33
鶴 見 製 作 所 社 員 持 株 会	580	2.08
日 本 マ ス タ ー ト ラ ス ト 信 託 銀 行 株 式 会 社	528	1.90
株 式 会 社 有 伸 興 産	518	1.86
住 友 信 託 銀 行 株 式 会 社	465	1.67
株 式 会 社 高 陽	432	1.55

(注) 当社は自己株式2,516千株保有しておりますが、上記には含めておりません。

■所有者別



■所有数別



ツルミのバンクス ポンプシリーズ!!

汚水から海水まで幅広いニーズに対応する水中ポンプ。

VANCS SERIES

水中ハイスピンポンプ PU型

軽い・強い・錆びにくい

バリエーション豊富なバンクスシリーズは、軸封装置、モータ保護装置、ケーブル心線の水切構造など、専門メーカーとして長年培ってきたノウハウが活かされた高性能樹脂ポンプです。



- 浄化槽の原水移送用
- 汚物槽排水・厨房排水用
- 一般雑排水の排水用

異物通過径・装備・機能を向上。進化した実力。
**PUT型
2.2・3.7kW
新発売**

・ 吸込×吐出し口径：40～80mm
・ 出力：0.15～3.7kW
・ 全揚程：3.5～20m
・ 吐出し量：0.1～0.6m³/min

Marinemate

水中チタンポンプ TM型

海水に強いチタン

海水用水中チタンポンプ『マリンメイト』は、接液するすべての金属部分にチタンを採用しています。チタンはステンレスより表面の酸化皮膜がはるかに強固で、海水のような高い塩素イオン濃度条件下においても、優れた耐食性を示します。



- 海水の排水／船のビルジ、ピット
- 海水の循環／生簀水槽、水槽ろ過、船の保冷水槽、海苔の攪拌
- 海水の取水／生簀、生簀トラック

**1.5kW
新発売**

・ 吐出し口径：40・50mm
・ 出力：0.25～1.5kW
・ 全揚程：6.5～14.5m
・ 吐出し量：0.08～0.20m³/min

※ 海水用ポンプには陸上タイプもございます。



株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

特別口座の口座管理機関 住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部

（郵便物送付先） 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10

住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先） ☎0120-176-417

（インターネット <http://www.sumitomotrust.co.jp/>

ホームページURL） STA/retail/service/daiko/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公 告 方 法 当社のホームページに掲載します。

<http://www.tsurumipump.co.jp/ir/announce/index.html>

上 場 取 引 所 東京証券取引所市場第一部

大阪証券取引所市場第一部



地球環境保護のために再生紙と
植物油インキを使用しています。